



落二中だより

令和3年3月18日

第10号

新宿区立落合第二中学校

「今を振り返って」

令和2年度が間もなく終わります。生徒の皆さん、この1年間を振り返ってみましたか？誰しもがコロナ禍の1年でもありました。そのような状況の中、できなかったことや失われたものが多くあったのではないのでしょうか。その一方で、気づいた事や得たものも多かったのではないかと思います。

1年の終わりに改めて振り返ってみる事で、生徒の皆さん一人ひとりが何に気づき、何を勉強したのか、何を得たのかを確認してみてください。

私も節目節目には、色々なことを振り返るようにしています。なぜ、振り返るのが大切なのか。それは、これからの自分を考える上で、過去の自分と今の自分を向き合わせる事がとても大切だからです。しかし、このことは過去にとられる事ではありません。



生徒の皆さんには、これから先、色々な節目があります。その時には、是非、今の自分を適切に判断し、これから未来に向けて自分はどうするべきなのかを考えてほしいものです。来るべく「今を一生懸命生きる」ために、過去の自分を振り返り、向き合う事は必須だと思います。

生徒の皆さんは、4月から新たな環境の中で生活していくこととなります。スムーズに一步を踏み出すことができるように準備をしてください。

最後になりましたが、保護者の皆様、地域の皆様には、どのような状況の中でも生徒たちを温かく見守り、様々な場面でご支援とご協力をいただいていること改めて感謝申し上げます。ありがとうございます。

来年度もどうぞよろしくお願いいたします。



春を呼ぶスプレーマム

☆ 学年主任より ☆三

3年生はこの1年、「自律し、自立する」を掲げ、生活してきました。コロナの影響で、思い描いていた最上学年としての活動、行事は次々となくなり、慣れない制限がたくさんある毎日。そんな状況でも不平不満を言うことなく、可能な中で精一杯やること、楽しむことをあきらめず、笑顔で過ごしてきた生徒たち。その姿はとてたくましく、先が見えない中でもしなやかに生き抜く力を確実に身につけていきました。そこには本人たち一人一人の努力はもちろん、保護者の皆様のあたたかいご支援があったからこそだと、大変感謝しております。おかげさまで無事卒業を迎えることができます。これまで様々な面においてご協力いただき、お世話になりました。3年間、本当にありがとうございました。（3学年主任 一万田 裕美）

急な臨時休校となった昨年、先行きも不透明なまま、第2学年は「確かな協力・継承」を学年目標にスタートしました。この1年を振り返ると、学校行事等への全学年の参加もままならない中で、その目標の達成に本当に苦労した毎日でした。しかし、そんな中にありながら生徒たちは、多くの行動を制限されるなかであっても、できることに一生懸命に取り組み、大きく成長していく姿を見せてくれました。

来年度はいよいよ勝負の年、保護者会でもお話ししましたが、①自己理解・②心身の健康・③目標への学習の3つが、進路を切り開いてくれると信じています。おそらく、4月からは今までの15年間の人生で最も努力する一年になるはずです。先輩たちのように、胸を張って落二中を卒業するために、良い準備をしていきましょう。（2学年主任 井出 敦大）

今年度は、入学式が6月実施という異例のスタートとなりました。それでも生徒たちは、中学校生活のリズムに徐々に慣れ、仲間と協力しながら新しい生活様式にもしっかり取り組んできました。授業に真剣に取り組む姿、テストを最後まで粘って解いている姿、困っている友達に声をかけて助けている姿、ニコッとほほえんでさわやかなあいさつをする姿……。日々の前向きな姿に大きな成長を感じています。そして来年度への期待も膨らみます。4月から後輩を迎えますが、中堅学年として、「向上心」をもって立派に歩いて行って欲しいと願っています。これから、生徒、保護者、学校がより力を合わせて、さらにステップアップした新2学年が誕生していくことを楽しみにしております。1年間、絶大なご支援、ご協力をいただきましたことに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。（1学年主任 新海 誠）

まなびの教室となって2年目が終了します。「いつもと違う」が苦手な生徒たち、今年度はとても大変な1年の予感がありました。しかし、心配をよそに「授業が少ない、ゆっくりペースでよかった」、「行事って苦手なんだよね、ないのもいいかな」という声も聞こえてきました。初めて経験をどう感じ、どう成長につなげていくかはそれぞれですね。多様な生徒がいて、子どもたちから学ぶことも多かった1年でした。世の中が少しずつ変わっていく中で、それぞれが環境に合わせるだけでなく、新しい世の中を創る一員であってほしいと思っています。また、新たな春を迎え様々な声を聞きながら、それぞれが楽しい学校生活を送れるよう、生徒たち、保護者、地域のみならず、教員間でこちらは「密なコミュニケーション」をとっていきたいと思っています。1年間まなびの教室へのご理解、ご協力をありがとうございました。（まなびの教室主任 黒澤 勝）

井出先生、東京都「Good Coach賞」に輝く!

『東京都教育委員会は、生徒の発育・発達や能力・志向に応じ指導目標や指導計画により、生徒が生き生きとした学校生活を送れるような運動部活動及び文化部活動指導を実践している顧問教諭を東京都「Good Coach賞」として表彰し、これを広く顕彰する。』としています。今年度は、井出先生が受賞されました。中学校・高校の教員としてサッカー部を顧問し、個・集団の身体的及び精神的な状況を見取って確かな技術指導を行っている点、「規範意識の向上」や「あいさつの励行」を柱とした人格形成に力を入れ、生徒同士の間関係に配慮して相互に高めあう指導を行っている点、そうした指導が実り、新宿区の公立学校として、都大会出場を果たした点、育成会や新宿区サッカー連盟で開催する、地域の小学生サッカーチーム大会でボランティアとして大会運営や審判などで活動する生徒たちを指導する点、「話し合い活動」を励行し、校内の推進者として指導法・環境整備に尽力している点等が評価され受賞されました。

◆ 落二中学生の生徒たちの頑張り紹介 ◆

- **体育優良生徒表彰** A.R(3A) K.K(3B)
- **産業教育奨励賞** I.R(3A) A.S(3B)
- **新宿区生徒表彰**

3年間、体育や技術・家庭科の物作りで秀でた能力を発揮し、学習や生活態度において、人の模範となった生徒に東京都より送られる賞です。

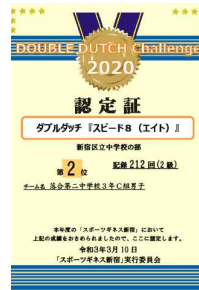
「サッカーを通じた地域貢献・ボランティア活動」(都大会出場)

サッカー一部

- 「第5回 東京都中学校新聞スクラップコンクール スクラップ新聞の部 優秀賞」 S.K(2C)
- 「第5回 東京都中学校新聞スクラップコンクール スクラップ新聞の部 佳作」 N.M(2C)

○ ダブルダッチ(スピード8(エイト))

| | | |
|-----|---------------|------|
| 2位 | 落合第二中学校3年C組男子 | 212回 |
| 9位 | 落合第二中学校3年B組男子 | 198回 |
| 11位 | 落合第二中学校2年A組男子 | 185回 |
| 13位 | 落合第二中学校2年C組男子 | 181回 |
| 15位 | 落合第二中学校3年C組女子 | 177回 |

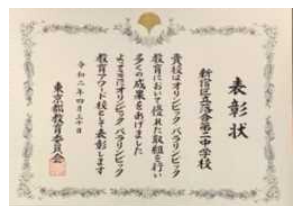


◆ 落合第二中学校として表彰を受けました

○ オリンピック・パラリンピック教育アワード校

落二中では、平成28年度よりオリ・パラ教育として次のような教育活動を実践してきました。

1. 日常的な体育の活動である3分完走やダブルダッチ、
2. 移動教室や修学旅行を通じての日本文化の調べ学習、
3. パラリンピアを招いての車いすバスケット体験、
4. 歌舞伎や能、落語といった古典芸能の鑑賞、
5. 専門家を招いて自国と他国の食文化を体験する講座、
6. アメリカ大使館員の方との交流、
7. 地域の専門家から学ぶ染色や茶道体験・・・などなど



こうした学習を通して、生徒のみなさんが体力の向上とともに「スポーツ志向」を高めた点、自国文化に親しみ、理解を深めることで「日本人の誇り」をもち、平行して学ぶ異国文化で「豊かな国際感覚」を身に付けた点、パラリンピアとの交流や、社会、家庭科、道徳の授業でバリアフリーや共生について学ぶこと、オリ・パラ250日前イベントへの参加などで「障がい者理解」や「ボランティアマインド」を培おうとしている点などに対して、「オリンピック・パラリンピック教育アワード校表彰」を受けました。

皆さんの学ぶ姿が評価されたことを大変嬉しく思います。私たち教員は、これまで以上にオリ・パラ教育の目指すところへの理解を深め、オリ・パラ後も生徒が意欲をもって学べる教育活動を工夫し、提供していきたいと考えています。今後ともご理解、ご協力よろしくお願いします。

○ 納税貯蓄組合からの感謝状

例年、3年生が社会科で取り組む税の作文において、それぞれが税について関心をもったことについて調べ、税の集め方や税金の使われ方、これからの税のあり方などについて自分の考えをまとめ、しっかり論じていることについて評価されました。優れた作品は、掲示板に掲示します。是非、目を通してください。

新型コロナウイルスの影響等により、お子様の事で不安等がありましたら、担任又は管理職にご連絡ください。
問合せ先： 副校長 宇野 頼子 電話番号： 3565-0702